

大会1日目 順位決定リーグ (2015年2月1日)

(9位グループ) (会場: 中台運動公園球技場 A)

	市川TC B	印西TC	袖ヶ浦TC		勝点	得失点	順位
市川TC B		① 2-5	③ 1-2		0	-4	3
印西TC	5-2		⑤ 6-1		6	+8	1
袖ヶ浦TC	2-1	1-6			3	-4	2

(8位グループ) (会場: 中台運動公園球技場 B)

	流山TC	四街道TC	富津TC	八街TC	勝点	得失点	順位
流山TC		① 2-2	③ 13-1	⑤ 6-1	7	+17	1
四街道TC	2-2		⑥ 0-14	④ 3-2	4	-13	3
富津TC	1-13	14-0		② 3-0	6	+5	2
八街TC	1-6	2-3	0-3		0	-9	4

(7位グループ) (会場: 佐倉市岩名運動公園球技場A)

	浦安TC B	白井TC	長生TC	緑区TC	勝点	得失点	順位
浦安TC B		① 9-1	③ 6-3	⑤ 2-2	7	+11	1
白井TC	1-9		⑥ 4-5	④ 1-4	0	-12	4
長生TC	3-6	5-4		② 0-3	3	-5	3
緑区TC	2-2	4-1	3-0		7	+6	2

(6位グループ) (会場: 佐倉市岩名運動公園球技場B)

	松戸TC	佐倉TC	安房TC	船橋TC B	勝点	得失点	順位
松戸TC		① 1-2	③ 4-0	⑤ 4-2	6	+5	2
佐倉TC	2-1		⑥ 7-2	④ 3-1	9	+8	1
安房TC	0-4	2-7		② 2-3	0	-10	4
船橋TC B	2-4	1-3	3-2		3	-3	3

(5位グループ) (会場: 八千代台西グラウンド)

	船橋TC A	鎌ヶ谷TC	八千代TC B	中央区TC	勝点	得失点	順位
船橋TC A		① 1-1	③ 4-0	⑤ 3-0	7	+7	1
鎌ヶ谷TC	1-1		⑥ 1-4	④ 3-2	4	-2	2
八千代TC B	0-4	4-1		② 1-4	3	-4	4
中央区TC	0-3	2-3	4-1		3	-1	3

(4位グループ) (会場: 成田市はなのき台スポーツ広場A)

	野田TC	成田TC	山武郡市TC A	若葉区TC	勝点	得失点	順位
野田TC		① 0-1	③ 2-5	⑤ 2-8	0	-10	4
成田TC	1-0		⑥ 3-3	④ 2-2	5	+1	2
山武郡市TC A	5-2	3-3		② 3-1	7	+5	1
若葉区TC	8-2	2-2	1-3		4	+4	3

(3位グループ) (会場: 成田市はなのき台スポーツ広場B)

	浦安TC A	我孫子TC	君津TC	花見川区TC	勝点	得失点	順位
浦安TC A		① 1-0	③ 2-1	⑤ 7-0	9	+9	1
我孫子TC	0-1		⑥ 1-8	④ 0-8	0	-16	4
君津TC	1-2	8-1		② 0-8	3	-2	3
花見川区TC	0-7	8-0	8-0		6	+9	2

大会2日目 (2015年2月8日)

(上位グループA) (会場: 中台運動公園球技場 A) 延期分2/14 栄レインボーグラウンド

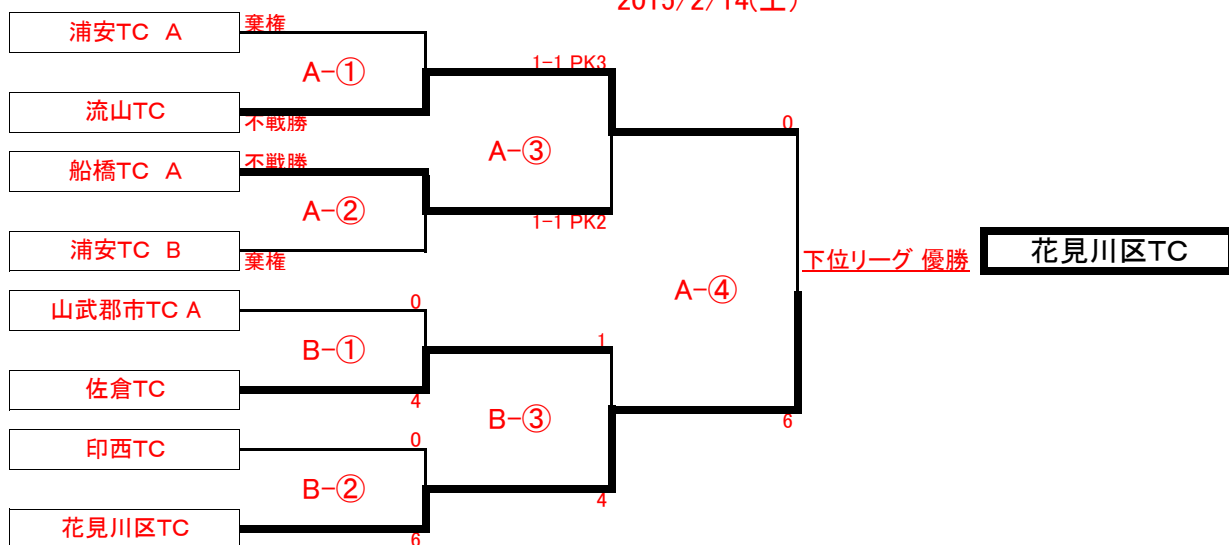
	市川TC A	八千代TC A	市原TC	美浜区TC	勝点	得失点	順位
市川TC A		① 2-4	③ 0-1	⑤ 0-5	0	-8	4
八千代TC A	4-2		⑥ 1-0	④ 3-4	6	+2	2
市原TC	1-0	0-1		② 1-1	4	0	3
美浜区TC	5-0	4-3	1-1		7	+6	1

(上位グループB) (会場: 中台運動公園球技場 B) 延期分2/14 栄レインボーグラウンド

	習志野TC	柏 TC	木更津TC	稲毛区TC	勝点	得失点	順位
習志野TC		① 1-8	③ 8-0	⑤ 4-0	6	+5	2
柏 TC	8-1		⑥ 3-1	④ 5-0	9	+14	1
木更津TC	0-8	1-3		② 2-1	3	-9	3
稲毛区TC	0-4	0-5	1-2		0	-10	4

下位順位リーグ決勝トーナメント 2月8日

(会場:栄レインボーグラウンド)
2015/2/14(土)



大会3日目 決勝トーナメント

2015/2/21 (土)

(会場： 中台運動公園球技場)



優勝

八千代トレセンA

準優勝

美浜区トレセン

第3位

柏 トレセン

習志野トレセン

平成26年度千葉県郡市トレセンリーグ（U-11）兼
千葉県郡市トレセン少年サッカー選手権5年生大会

決勝

日 時 2015年 2月21日（土曜日）
試合会場 成田市中台運動公園球技場
気象状況 天 候；晴れ 気 温；13.1℃ 湿 度；42% 風 力；東2m ピッチ状況；人工芝
キックオフ 13時30分

対戦チーム	美浜区トレセン	八千代トレセンA
-------	---------	----------

試合結果

2	1	第1ピリオド	0	3
	0	第2ピリオド	2	
	1	第3ピリオド	0	
	0	延長戦	1	
		(PK)		

戦 評
決勝戦同日に行われた準決勝を、美浜区トレセンは習志野トレセンを2－1で、同じく八千代トレセンは3－2で柏トレセンに勝利し、決勝戦へ進出した。天候もピッチ状態も最良の中台運動公園球技場で決勝戦が行われた。

【第1ピリオド】
八千代トレセン（以下、八千代）のキックオフで第1ピリオドが始まった。開始1分、ピッチ中央での美浜区トレセン（以下、美浜区）のファールにより得たフリーキックを、八千代10番原田拓海選手が直接ゴールを狙うが、GK正面にて得点にはならなかった。しかし、ファーストシュートを得たことにより八千代がリズムを掴む。3分にも八千代DF30番太田まさき選手がドリブルで持ち込み八千代左サイドの21番北原遥一選手へパスし、そのままセンターリングしたボールを八千代8番佐伯亮太選手がシュート、惜しくもゴールにはならなかったが、ポゼッション率も高い八千代が優勢に試合を進めた。しかし6分八千代が自陣ゴール前でクリアミス、美浜区10番松野誠也選手がボールを奪い、すかさず美浜区6番本間太基選手へスルーパス、みごとにパスが通りGKと1対1へ、冷静に6番本間太基選手がゴールを決めて美浜区が先取点を奪った。その後も八千代が10番原田拓海選手を中心に攻め続ける。11分には八千代21番北原遥一選手からのセンターリングを10番原田拓海選手が頭で合わせるもゴール右へ外れる。12分同じく八千代10番原田拓海選手が美浜区ゴール前でボールを奪い直接シュートするもGK正面。八千代は相手ゴール前まではいくがなかなか得点は奪えなかった。そして、第1ピリオド終了間際に美浜区が八千代ゴール前で間接フリーキックを得て、美浜区18番小島和航選手が美浜区10番松野誠也選手へボールを渡し、そのままシュートするもゴール枠を捉えることが出来ずに、第1ピリオドが終了した。

【第2ピリオド】
美浜区のキックオフ。開始2分、美浜区9番柿沼弘大選手が自らドリブルで持ち込みファーストシュート。得点にはならなかったが、美浜区が優勢に試合を進めると思われた。その1分後の3分、八千代4番土屋直輝選手から右サイドの八千代2番鈴木凜生選手へパス、2番鈴木凜生選手がドリブルで駆け上がりセンターリング、そのボールを八千代11番原田陸斗選手がつめてゴールし八千代が同点に追いついた。さらに6分、八千代11番原田陸斗選手がピッチ中央で相手への激しいチャージによりボールを奪い、そのこぼれ球を八千代2番鈴木凜生選手がロングシュートを放つが、美浜区GK21番豊田凌造選手が好セーブする。そして7分、美浜区の自陣ゴール前でファールにより、八千代はいい位置でのフリーキックを得た。そのフリーキックを11番原田陸斗選手が見事に決めて、八千代がついに逆転した。
その後は美浜区も6番本間太基選手や9番柿沼弘大選手が攻め続けるが、八千代DF5番大野瑞生選手や25番宮脇康太選手を中心にした固い守りに阻まれた。また八千代は右サイドの2番鈴木凜生選手が快足を活かしたドリブルでチャンスは何度も演出したが、八千代も得点することは出来なかった。
そして、第2ピリオド終了間際に美浜区8番荒井圭介選手が左サイドをドリブルで持ち込みセンターリング、そのボールを9番柿沼弘大選手がヘディングで合わせるもゴールを外れ第2ピリオドが終了した。

【第3ピリオド】
八千代のキックオフ。開始1分美浜区のゴール前で、美浜区GK1番前田優和選手と八千代11番原田陸斗選手が接触しGKが負傷。GKはそのままプレーを継続できたが、最終ピリオドであり激しい試合となることが予想された。開始3分八千代11番原田陸斗選手が相手ボールをカットし、八千代10番原田拓海選手ヘスルーパス、惜しくもオフサイドとなるが、第1ピリオド、第2ピリオドで八千代の中心選手として活躍した10番、11番の2名を中心に多彩な攻撃を展開した。開始5分、八千代が自陣ゴール前でファール、美浜区8番荒井圭介選手がフリーキックを直接狙うが、ゴール上ヘ外れた。ピッチの入替を行い美浜区のキックオフ。ここから美浜区が徐々にペースを掴み始める。まずは9分、コーナーキックを得るが得点できず。そして12分、コーナーキックを美浜区8番荒井圭介選手が低い弾道で八千代ゴールのニアサイドに蹴り、そのボールヘ美浜区9番柿沼弘大選手がダイビングヘッドで飛込みゴール。ついに美浜区が同点に追いついた。14分、八千代がゴール右サイドでファール、美浜区10番松野誠也選手が直接狙うがゴールならず。さらに15分、美浜区10番松野誠也選手から美浜区9番柿沼弘大選手ヘスルーパス、八千代ゴール前での決定的なチャンスであったが、GK正面ヘのシュートでゴールならず。さらに、第3ピリオド終了間際に美浜区が八千代ゴール前でフリーキックを得て、美浜区10番松野誠也選手が直接ゴールを狙うが、ゴール枠を捉えることが出来ずに、ここでタイムアップ。第3ピリオドが終了し、2対2の同点で延長戦ヘと突入した。
【延長戦】
決勝戦では10分（5分－5分）の延長戦を戦うことになる。
<前半>
八千代のキックオフ。開始早々1分、八千代右サイド8番佐伯亮太選手がサイドチェンジを狙ったロングパスが八千代左サイドの11番原田陸斗選手ヘ渡り、そのまま美浜区ゴールまで持込みゴール。延長戦の開始早々に八千代が得点を奪った。その後も、得点をあげた八千代が勢いに乗り、八千代2番鈴木凜行選手が再三攻め上がり好機を作った。
<後半>
後半に入ってから八千代の攻めは緩まず、八千代8番佐伯亮太選手から2番鈴木凜行選手ヘのホットライン。また八千代の中心選手である10番原田拓海選手、11番原田陸斗選手の献身的な攻守が光り、美浜区はシュートらしいシュートも無く試合終了となり、八千代の優勝が決定した。
同日に行われた準決勝2試合、決勝1試合を合わせ、合計13点の得点があった。8人制であり、より多くのゴール前での攻防があり、見応えのある試合内容であった。特に決勝戦では、八千代トレセンが見せた高い位置からの相手選手ヘのチャージでボールを奪い、攻撃に転じるシーンが多く見られた。また、両チーム共にボール際での強さや、常にゴールを狙う姿勢や素早い攻守の切り替えは、U-11年代でのレベルの高い試合であった。
両チームには来年度も更なるレベルアップを図り、素晴らしいプレーをみせていただけることを期待したい。



マッチコミッショナー	主 審	運営責任者
本谷 勝通	阿部 政臣	村上 載弘

[備考]

【警告理由】 C1：反スポーツの行為、C2：ラフプレー、C3：異議、C4：繰り返し違反、C5：遅延行為、C6：距離不足、C7：無許可入、C8：無許可去
【退場理由】 S1：著しく不正なプレー、S2：乱暴な行為、S3：つば吐き、S4：得点機会阻止（ハンド）、S5：得点機会阻止（他）、S6：侮辱の発言、CS：警告2回による退場